

科目名	国際情報論特講	担当者	マルモリ 丸森 カズヒロ 一寛	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>これから国際情報分野の研究を進め、修士論文を作成するまでに必要なリテラシーと研究基盤となる知識・教養の涵養を目的とする。本年度は、経営学を中心とした内容とする。経営学は、企業を中心とした経営組織を対象として過去の事例を科学的方法で分析し、そこから真理を探究する社会科学の一分野である。そこにおける知見は、営利組織のみならず教育機関や行政機関などの非営利組織においても有効である場合が多く、経営以外の分野の研究を進める際にも十分に役立つものである。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】          問題発見・解決能力：事象を注意深く観察し、解決策を提案することができる。          論理的・批判的思考力：得られる情報を基に、論理的な思考、批判的な思考ができる。          豊かな知識・教養に基づく高い倫理観：豊かな知識を基に、倫理観を高めることができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際情報を学び、修士論文を作成するまでに必要なリテラシーを理解することができる。具体的には、①研究課題を修士論文として纏める際に必要な条件を理解できる、②自分の研究課題に関する先行研究を文献検索することができる、③研究倫理について、研究を進める上でやってはいけないことを理解でき、修士論文作成に反映できる。</li> <li>自分の研究領域において研究を進める上で必要な知識を得て、自分の研究課題を具体化することができる。</li> </ul> <p>【準備学修項目と準備学修時間】          スクーリングで 15 回の講義に出席するほか、1 つのレポート作成にあたり基本教材および参考文献の読み込みで 25 時間以上、Manaba-Folio への提出・再提出のやりとりに 20 時間以上を目安とする。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レポートの推敲過程において、manaba folio の全受講者用の掲示板機能 (「スレッド」) に届いた受講者からの質疑に対して応答し、その過程を受講生全員に公開する。</li> <li>オープンエデュケーション教材 (OER) を基本教材の補助として視聴する。</li> </ul> <p>【学修方略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定された基本教材、および参考文献を読みこなし、レポートを作成し manaba folio に提出する。提出されたレポートについて科目担当者が検討すべき事項を指摘して修正版の提出を求める。これらを繰り返して合格水準に達するレポートを完成させる。この過程において疑問が生じた場合には、Manaba-Folio を通して適宜科目担当者に質疑をする。</li> <li>7月中旬に3日間実施されるスクーリング (集中面接授業) に全日程出席することが、単位取得の要件となる。スクーリングでの主要な話題は、以下の通りである：①研究とは何か、②研究倫理、③文献検索の方法、④引用・参考文献の示し方、⑤国際情報専攻各コースの講義 (経営、経済、国際 (関係)、政治) とディスカッション。なお、補講を実施する場合がある。</li> </ul>		
スケジュール	<p>この講義は、大学院の初年度教育に関する内容なので、スケジュールの調整がつかざり、初年度に履修することが望ましい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>通信授業 (在宅学習) 2 単位             <ol style="list-style-type: none"> <li>基本教材 1. のレポート課題 1 初稿〆切 2018 年 6 月末日 → 最終稿〆切 2018 年 9 月 20 日</li> <li>基本教材 1. のレポート課題 2 初稿〆切 2018 年 11 月末日 → 最終稿〆切 2019 年 1 月 15 日</li> </ol> </li> <li>スクーリング 2 単位 2018 年 7 月 14 日～16 日 (補講を実施する場合：2018 年 9 月 15 日～17 日)             <ol style="list-style-type: none"> <li>スクーリング・レポート課題 1：スクーリング 1 週間後 (初稿のみ)</li> <li>スクーリング・レポート課題 2：スクーリング終了の 1 か月後 (初稿のみ)</li> </ol> </li> </ol>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	通信授業 (在宅学習)	50%	レポートの内容 (構成、論旨、引用文献、独創性)：35% 提出状況 (期限の順守、初稿から最終稿までの改善度等)：15%
	スクーリング	50%	スクーリングの発表およびディスカッション参加状況 (10%) 及びレポート課題 1 (10%) 及びレポート課題 2 (30%) により評価。
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な学習のため、履修届を提出したら担当教員 (<a href="mailto:marumori.kazuhiro@nihon-u.ac.jp">marumori.kazuhiro@nihon-u.ac.jp</a>) に必ずメールにて連絡すること。</li> <li>学修およびレポート作成についての注意事項については、全て Manaba Folio の「国際情報論特講」の掲示板で告知するので、必ず定期的にチェックすること。</li> <li>レポートを作成する際には、事実と意見を峻別すること。また、意見のうち他者の意見と自分の意見を峻別し、前者については引用部分と出典を明らかにし、後者についてはその根拠を論理的に説明すること。</li> </ul>		

【レポート課題】

基本教材 1 (通信授業/在宅学習用)	
教材の概要	<p>(1) 著者名： 早稲田大学ビジネススクール著 教材名： 『ビジネスマンの基礎知識としてのMBA入門』(日経BP社、2015) ISBN978-4-8222-4900-7 1,800円+税</p> <p>(2) 著者名： 日本経済新聞社 編 教材名： 『仕事に役立つ経営学』(日本経済新聞出版社、2014) ISBN978-4-532-11314-8 860円+税</p> <p>『ビジネスマンの基礎知識としてのMBA入門』は、ビジネススクールの主要科目のエッセンスを集約したもので、ビジネスの原理原則を体系的に学ぶための入門書である。ビジネスプランを描くための「戦略思考の基礎」と、その実行方法を解説した「マネジメントの基礎」から構成され、考えることと実行することの基本をバランスよく学習できるように工夫されている。</p> <p>『仕事に役立つ経営学』は、経営学の最前線で活躍する重鎮・気鋭の日本人研究者11名が、今注目を集めるホットなテーマについて執筆したものである。企業の実例が多く織り込まれており、実務に役立つ内容となっている。</p> <p>いずれも、章毎により詳しく学ぶための本を紹介しており、各人の興味に応じてさらに深く学べるように工夫されている。</p>
参考図書	「基本教材(1)収録の「もっと詳しく学ぶための本」および(2)収録の「ブックガイド」に記載されている本
履修上のポイント	基本教材は、いずれも経営学の基礎知識を持ち合わせていなくとも読み進められる記述となっているが、ベーシックなフレームワークや理論を出発点としながら最新の理論とケースを学べる内容となっている。字面を追うだけでなく、その背景にあるロジックを常に考えながら読み進めてほしい。
レポート課題 1	①経営経済学、②経営戦略、③マーケティングの各分野について、それぞれ指定された内容(履修登録者に別途連絡)のレポートをまとめて下さい。
レポート課題 2	④組織論とリーダーシップ、⑤アカウンティング、⑥ファイナンスの各分野において、それぞれ指定された内容(履修登録者に別途連絡)のレポートをまとめて下さい。

基本教材 2 (スクーリング)	
教材の概要	<p>著者名： 教材名： スクーリングにおいて提示された推薦図書</p>
参考図書	「基本教材(1)収録の「もっと詳しく学ぶための本」および(2)収録の「ブックガイド」に記載されている本
履修上のポイント	スクーリング前半の「大学院における研究及び論文作成に必要な基礎的事項」において、①研究及び論文の最低条件を理解する、②研究倫理を含む研究を進めるための基本的なスキルを身につける、③研究及び論文作成のモチベーションを高める、という3つの目的を達成して修士論文を作成するために必要な研究リテラシーを涵養するとともに、後半の「各専攻分野における様々な問題」において、国際情報専攻分野の研究基盤となる知識・教養の涵養に努めること。
レポート課題 1	スクーリングの概要を要約し、それについての意見をまとめてください。(1,000字から1,500字)
レポート課題 2	各分野の研究手法の講義や基本教材および参考図書、並びにスクーリングでの発表およびディスカッションを踏まえて、 <b>研究計画書</b> (3,000字から4,000字)をまとめ、指導教員のレビューを受けた上で提出してください。